

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和7年3月号

No. 14

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<娘様からの相談内容>



一緒に暮らす高齢の母親が、家からでることができなくなり病院に行けなくなってきました。病院の先生から、老衰に近い状態のため、訪問診療をすすめられました。食べる量が急に減ったけど、そんなに悪い状態だと思っていませんでした。

<在宅療養支援窓口スタッフの支援内容>

ご自宅に伺い、ご本人の状態を確認しました。自分で起き上がり、簡単な話しはできる状態でしたが、寝ている時間も増えたそうです。

娘様は、お母様の緩やかに変化する状態に、いろいろ考えて対応してきていましたが、死が近いことをイメージできていませんでした。

娘様の気持ちを確認し、現在の状態や今後起こる可能性がある状態の変化、必要な医療・介護サービスについて説明しました。なるべく家で過ごせ、急な入院にも対応できるように、地域の病院と連携があるかかりつけ医に診療をお願いし、訪問診療、訪問看護等の在宅療養が開始しました。

<娘様の気持ち>

自分は料理が上手ではないので、それで食べなくなったと思っていました。

最期まで家でみるのは、自分の体力的に無理だと思うから、最期は入院がいいと思う。



訪問診療、訪問看護を開始し、3か月後にご自宅で、娘様に見守られ穏やかな最期をむかえました。

在宅療養について

“治療” と “療養” を住み慣れたご自宅で



医師や看護師が自宅へ訪問してくれる訪問医療を受けながら 24時間365日体制での療養が可能です。

通院が困難で自宅での療養を希望する方のために、自宅などに訪問して診療を行うことを『**訪問診療**』といます。

メリット : 定期的・計画的にずっと診てもらえる、通院の負担が減る、入院するより費用がかからない

デメリット : 緊急時に病院のような検査や手術がすぐにできない

*発熱などの突発的な変化のため、訪問診療とは別にご自宅に伺い診療することもできます(往診)



台東区在宅療養支援窓口 電話:03-5603-0235

